

# タオル帽子

小樽つむぎの会は 岩手ホスピスの会との出会いから始まった小樽のボランティア団体です。

当初、木村代表が岩手へ一人で研修へ行き作り方を学び震災地へ寄贈するなど活動していました。

2018年、まちゼミおたるで講習会を開催した縁で賛同者が集まり、現在はピンクリボンの会や、近隣の病院へ寄贈をしています。

つむぎの会

おたる

現在がん治療の主流である「抗がん剤」は 多くのがん患者さんの治療効果をあげています。しかし薬の種類、投与の方法で異なりますが吐き気、虚脱感、「脱毛」の副作用が予想されます。

全ての方に症状が出るわけではありませんが髪が抜けるということは想像以上の不安やストレスを伴います。

突然の脱毛であわてないように事前の準備があれば精神的にもゆとりを持って治療にも前向きになれます。

フエスタオル一枚で出来るタオルの帽子は通気性、吸収性に優れ肌触りも良く患者さんのもとより、寒い時に被ったり入浴後に被ったり、ヘルメットの下に被り汗を吸うなど使い方が広がっております。

どこの家庭にでもあるタオルで作る事が出来る手軽さ、色・柄・サイズなど自分の好みでオリジナルの帽子ができてきます。

この小さなボランティア活動が一人でも多くの方の心にご理解頂けると幸いに思います。

## 小樽つむぎの会

事務局代表 木村雪子

〒047-0003

北海道小樽市真栄1丁目6番5号

TEL: 090-2876-9177

